

# 安全データシート

作成日 2015年 12月 17日

改訂日 2024年 3月 25日 (第3版)

## 1. 化学品及び会社情報

製品名称 白色ワセリン  
推奨用途 手足のヒビ、アカギレ、皮ふのあれ、その他皮ふの保護  
使用上の制限 推奨用途以外には使用しないこと  
会社名 健栄製薬株式会社  
住所 大阪府中央区伏見町2丁目5番8号  
担当部門 学術情報部  
電話番号 06-6231-5822  
FAX番号 06-6204-0750  
連絡先 健栄製薬株式会社 学術情報部

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

#### 【健康に対する有害性】

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2B

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当する。

### GHSラベル要素

#### 【絵表示又はシンボル】

なし

#### 【注意喚起語】

警告

#### 【危険有害性情報】

眼刺激

#### 【注意書き】

##### [一般的注意]

医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

子供の手の届かないところに置くこと。

使用前にラベルをよく読むこと。

##### [安全対策]

取扱い後は眼をよく洗うこと。

##### [応急措置]

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

##### [保管]

なし

##### [廃棄]

なし

**【他の危険有害性】**

推奨用途に従って使用する場合には、重大な健康への悪影響を生じることは想定されない。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

成分名	含有量	化審法番号	CAS 登録番号
長鎖飽和炭化水素 (Petrolatum)	99-100 重量%	9-1692	8009-03-8

注記：この値は製品規格値ではない。

説明：パラフィン系残渣油を脱ロウして得られる半固形の炭化水素混合物。

主に炭素数 25 より大きい飽和結晶及び液状炭化水素からなる。

慣用名又は別名 : ペテロラタム、Petroleum jelly、Mineral grease (petrolatum)、ワセリン (白色)、Vaseline

**4. 応急措置**

- 吸入した場合 : 該当しない (通常の状態では吸入することができない) が、万が一、気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合は医師の診断/手当てを受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。  
眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でうがいをする。無理に吐かせない。  
気分が悪いときは医師に連絡する。

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、砂を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水
- 火災時の特有の危険有害性 : 加熱により容器が破裂するおそれがある。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。  
自給式呼吸器を着用する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業者は適切な保護具を着用する。  
床 (地面) にこぼしたときは滑る危険性がある。漏出物の上を歩かない。
- 環境に対する注意事項 : 河川、下水、土壤に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出物は不活性の物質 (乾燥砂、土など) に吸収させ、容器に回収する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 【取扱い】

技術的対策	: 特になし
安全取扱い注意事項	: 取扱い中は飲食、喫煙をしてはならない。 眼に入らないようにする。 飲み込まないようにする。 多量に取扱う場合には保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。 取扱い後は手をよく洗う。 推奨用途以外には使用しない。 使用期限を過ぎた製品は使用しない。
接触回避	: 強酸化剤
衛生対策	: 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。 この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしない。

### 【保管】

安全な保管条件	: 直射日光の当たらない涼しいところに密栓して保管する。 小児の手の届かないところに保管する。
安全な容器包装材料	: 製品に使用されている容器に限る。 他の容器に入れ替えない。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 【許容濃度等】

管理濃度	: データなし
日本産業衛生学会（2020年度版）	: 3mg/m <sup>3</sup> （鉱油ミストとして）

### 【設備対策】

設備対策	: 洗眼設備を設ける。 手洗いや洗顔の設備を設ける。
------	-------------------------------

### 【保護具】

呼吸用保護具	: 通常の手扱いは必要なし。
手の保護具	: 保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	: 保護眼鏡又は顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体又はろう状の固体
色	: 無色～白色
臭い	: 炭化水素臭
融点／凝固点	: 38-60℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: > 230℃
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	: データなし
引火点	: 182-221℃（Closed cup 引火点測定法） > 200℃（クリーブランド開放式引火点測定法）

自然発火点	: > 290°C
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: > 0.25 cm <sup>2</sup> /s (> 25 cSt/40°C)
溶解度	: 冷水及び温水に不溶性
n-オクタノール/水分配係数	: log P >= 6
蒸気圧	: < 0.0013 kPa (< 0.00975 mmHg/室温)
密度及び/又は相対密度	: 0.75-0.87 g/cm <sup>3</sup> (100°C)
相対ガス密度 (空気=1)	: データなし
粒子特性	: 適用外

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の保管条件/取扱い条件において危険有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触 火源との接触 直射日光、高温
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、微量の炭素化合物、燐が生じる。

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: ラット LD50 > 5,000 mg/kg
急性毒性 (経皮)	: ウサギ LD50 > 2,000 mg/kg
急性毒性 (吸入)	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: 刺激性はなく、皮膚試験の vehicle として使用される (PATTY (5th, 2001)) との記載がある。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギにおいて、評価結果「Slightly irritating」である (IUCLID (2000)) ことから、区分 2B とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし (呼吸器感作性) : ヒトにおいて、評価結果「not sensitizing」である (IUCLID (2000)) やアレルギー性はなく、皮膚試験の vehicle をして使用される (PATTY (5th, 2001)) との記載がある。(皮膚感作性)
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: マウスの経皮投与試験 (80 週間、25 and 50 mg) において発がん性は認められなかった (IUCLID (2000)). また、精製度の高い物質の発がん性は殆ど又は認められなかった (PATTY (5th, 2001)) との記載がある。
生殖毒性	: ラットへの混餌投与試験 (2 年間) において、高用量投与でも生殖器への影響は見られなかった (US HPVIS, 2011)。
特定標的臓器毒性	
単回ばく露	: ウサギの皮膚試験 (24 時間ばく露、4 ml/kg) において、毒性症状は認められないが、試験物質が paraffin wax (CAS No. 8002-74-2) との混合物 (50/50) である (IUCLID (2000))。

反復ばく露 : データなし  
 誤えん有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : データなし  
 水生環境有害性 長期(慢性) : データなし  
 残留性・分解性 : 難分解性 (US HPVIS (2011))  
 生体蓄積性 : 高い生体蓄積性のある可能性が推測される。  
 土壌中の移動性 : データなし  
 オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

### 【化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報】

廃棄物の処理方法 : 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。  
 汚染容器及び包装 : 内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

## 14. 輸送上の注意

### 【国内規制がある場合の規制情報】

消防法 : 非危険物 (指定可燃物)

## 15. 適用法令

### 【当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令】

労働安全衛生法 : 該当しない  
 化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない  
 毒物及び劇物取締法 : 該当しない  
 消防法 : 指定可燃物  
 可燃性固体類 (届出数量 3,000 kg)

## 16. その他の情報

### 【参考文献】

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN  
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN  
 Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECN06182012)  
 2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
 2019 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>  
 JIS Z 7253:2019  
 JIS Z 7252:2019  
 2020年度 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
 Supplier's data/information  
 厚生労働省 GHS モデルラベル・SDS 情報  
 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果データベース

**【責任の限定について】**

本記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には用途に適した安全対策を実施の上でご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証をなすものではありません。

---